

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		and こころ 大府(放課後等デイサービス)		公表日 2025年3月12日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	・活動場所を2部屋で分けたり、布団を敷くスペースおよび物の置き場を工夫し、広いスペースを作っている。	・物品の配置を工夫する。また、大きな活動部屋のある店舗へ移転を検討する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・適切である。	・送迎時に手薄にならないように職員の勤務体制を整えていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	・玄関にはバギーが上る用のスロープを設置している。 ・利用者の体形に伴うトイレスペースの確保が難しいため、カーテンおよびパーテーションを使用し工夫している。	・パーテーションを扱いやすいものに改善したり、十分に寝転がり、おむつ替えが行える場所の確保をしたりする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・毎日の清掃、消毒、細めな換気を行い、清潔を心掛けている。 ・子どもが活動しやすい物の配置を日々検討し実践している。	・掃除、殺菌を継続して行い、物を清潔に保つようにする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・一部屋場所を設けている。 ・クールダウンできるように、また仮眠が取れる部屋がある。	・必要に応じてその場に必要なものを揃えたり、整えたりしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・業務内容を分担し振り返りがすぐに行えるようにしている。 ・半年に一度の面談後に、すぐ全職員に共通認識および月会議で共有している。	・目標設定を定期的に確認するようになる。 ・多職種ミーティングを毎月開催する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・保護者等に対して事業所の評価を実施し、保護者等の意向を事業所内で把握、業務改善に努めている。	・事業所から普段の様子をお伝えする際に、様々な目線からの様子をお伝えしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・業務の改善点がある場合は各事業所で実施しているミーティングおよび月1回正規職員が参集する職員会議で議題としてあげることとなっている。 ・日頃から日常会話を行い意見を話しやすい環境を作っている。また、不定期ではあるが話し合う機会を設けるようにしている。	・会話のしやすい環境を整え、話し合いの時間を1ヶ月に1回程定期的に設けるようになる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・第三者評価を行っている。	・継続して第三者評価を実施し、改善していく。	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度パートアルバイトを含む全職員を集め、外部講師を招き社内研修を1日かけて行っている。また、月に1度正規職員が集まり、研修計画に基づいて研修を受けている。 ・補助金があり参加しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員に研修内容を共有していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに公表されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜見直していくようにする。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス計画書の作成プロセスに基づき、保護者および本人との個別面談時にニーズおよび課題を一緒に確認し、計画書へ反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス計画書の作成プロセスに基づき、保護者および本人との個別面談時にニーズおよび課題を一緒に確認し、計画書へ反映していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職種問わず多くの職員からの意見を検討するよう日頃から情報交換を行う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで内容を確認し、支援に反映するようにしている。 ・放課後等デイサービス計画書を作成した際に職員で共有し、日々の支援時にも確認するように声を掛けている。 ・活動室に計画書のファイルがあり、いつでも職員が閲覧できるようにしている。また、支援内容の疑問点については日々解消している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1度放課後等デイサービス計画書の見直しを必ず行う。見直し内容を職員間で共有するようにする。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「遠城寺式乳幼児分析的発達検査」を使用している。また、モニタリング作成の際に支援に入っている職員から聞き取りを行っている。 ・日々の会話を意識して意見が出しやすいような雰囲気を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して「遠城寺式乳幼児分析的発達検査」を使用してアセスメントを実施していく。また、日々の情報共有を大切にしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して適切に支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者を軸にチームで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の検討を職種問わずに案を出し合い、一緒に考えながら支援を行う体制を作っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな活動を取り入れつつ、好きな活動を活かしたもの、および利用者の方が好きな活動を一緒に行えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ミーティングを活用して工夫していく。
適切な支援の提供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた活動を増やしていく。 ・医療的ケアが多い利用者の個別活動と集団活動をより充実していきたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・支援開始前に必ず打ち合わせをすることは行えていないが、ホワイトボードにてその日の流れおよび担当の移り変わり、来所時間、帰所時間等を記載しており、前日に確認することで支援内容の共有を行っている。	・ホワイトボードの活用は継続して実施していく。 ・週に1度常勤職員が参集し、ミーティングをする場を設けるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・支援終了後に必ず全員で打ち合わせをすることは行えていないが、入社して3ヶ月までの職員に対しては、振り返りを毎日主任および副主任と行い、その日の疑問点はその日の内に解消するよう努めている。	・とくに入職したての職員については時間内に振り替える時間を設けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・繋げている。 ・連絡帳を活用し、職員および保護者とその日の様子を共有している。	・改善につなげたい項目を職員間でタイムラグなく共有していくよう努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・3ヶ月～6ヶ月に1度モニタリングを行い、計画書見直しを実施している。	・適切な見直しを今後も行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	・個人の得意なことおよびやりたいことに合わせて組み合わせさせて実施している。	・継続して放課後等デイサービス計画書にも反映していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・1人ひとりに合わせてコミュニケーション支援を実施している。	・必ず利用者本人の意思を尊重するよう支援を提供していく。
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・参画している。	・管理者を主軸に参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・必要に応じて行っている。	・必要に応じて事業所連絡会を活用して連携していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・行っている。	・主に保護者を通して行っているが、定期的に利用者の方の様子について共通認識がもてるよう共有していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・努めている。	・必要に応じて実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・必要に応じて実施している。	・必要に応じて実施していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・必要に応じて行っている。	・必要に応じて実施していく。

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	・当法人が年1回開催している個展に向けて、一緒に保育園で制作を行い、夏祭り、スポーツ祭などのイベントで交流を行っている。	・さまざまな公共の場に出向くように計画を立て交流を行っている。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・参加している。	・今後も参加していきたい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳および送迎時にその日の出来事を伝え、出来るようになったことなど成長を共に喜ぶようにしている。	・事業所の開放日および家庭訪問を実施することで、保護者の方と利用者の方の様子について共通理解をもつようにしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・講演会を行っている。 ・研修会を開催している。	・日々の育児相談および困りごとには応えているが、ペアレントトレーニングとしては取り組んでいない。 ・今後取り組んでいきたい。 ・参加しやすい日にちおよび日時で開催していきたい、積極的に誘い掛けたり情報を交換したりしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・年1回、講演会を行っている。	・日々の育児相談および困りごとには応えているが、ペアレントトレーニングとしては取り組んでいない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・6ヶ月に1度個別面談を設定しており、家族と本人の意向を踏まえて計画書を作成するようにしている。	・利用者の方本人にも可能な限り参加してもらうようお声がけしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・時間を設け説明をしている。	・実際に見て支援を見てもらう機会を増やしていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・半年に1回の面談を行っている。相談、助言は日々の中で行い、保護者の意向等聞いて行っている。	・日々の相談については適宜丁寧に取り組んでいる。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	・保護者会後に交流会を開催したり、保護者交流のイベントを企画し実施している。 ・事業所の行事を計画し交流の場を設けている。 ・ぶどう狩りなどのおでかけのバスツアーおよび親子参加のスポーツ祭を企画し、保護者同士交流できる機会を設けている。	・年に1回でなく何度か繰り返し計画が行えるようにしていき、保護者の方への周知を図っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・行っている。	・すぐに返事が行えない内容に対しては丁寧にお返事を行い、十分に職員間で検討した後お伝えするよう心がける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月おたよりを発行している。また、instagramを活用して、活動の様子を配信している。公式LINEを活用している。	・広く事業所での様子を発信するよう努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・留意している。	・第三者へ情報開示をしないよう、誓約書を結んでいる。 ・書類については鍵付きの書庫にて保管している。
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・必要に応じて行っている。	・必要に応じて実施していきたい。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・地域の行事に参加をするよう計画を立てている。	・事業所から地域に発信し楽しめる行事を運営していくように計画を立てる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・年間の防災訓練スケジュールに盛り込み、毎月2回は実施するようにしている。	・マニュアルの見直しを定期的実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・行っている。	・BCPの見直しを上半期下半期で実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・主治医からの指示のもと確認している。	・継続して主治医と保護者の方と連携し、確認に努める。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・全職員に周知している。	・今後もアレルギーのある子どもへの対応は注意していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・防災訓練に併せて取り組んでいる。	・定期的な訓練の実施をする。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	・HPにて周知している。	・定期的な面談時にも確認を行うようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハットがあった際には各事業所責任者が参集する会議にて共有し、改善に努めている。	・共有後危険な場面を事前に予想して改善に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・年に1度パートアルバイトを含む職員全体を参集し、研修を行っている。その中の項目として虐待防止のための研修を毎年必ず行っている。また、地域の虐待防止研修にも参加するよう周知している。	・定期的に最新の虐待防止についての研修を受けるよう努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束についてのマニュアルが策定されており、そのマニュアルに基づいて児童発達支援計画書に「やむを得ない場面で起こりうる身体拘束」について記載があり、保護者の方にも説明を行っている。	・今後も児童発達支援計画書に記載し、保護者の方への説明も実施していく。	